

第5期 きらっとあさひプランってなあに？

旭区地域福祉保健計画の愛称です。
身近なまちに知り合いが増え、
安心して自分らしく暮らせるまちにするための計画です。

旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域ケアプラザが
地域の皆さんとともに取り組みます。



基本理念

地域で支えあい 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう

1 日常的なつながりを通じた地域づくり



お互いの理解を深め、さりげない見守りや日常の交流を通じたゆるやかにつながる地域を目指します。

2 困ったときでも安心して暮らせる体制づくり



どこに相談をしても必要な支援につながる体制をつくります。課題解決に向けて様々な人や団体で話し合います。

3 地域参加のための環境づくり



誰もが気軽に地域と関わって、企業や法人なども活躍でき、既存の活動も続けやすい、環境づくりを進めます。

地区別 計画

地区ごとの課題
に対する取組

区全域 計画

区全域に共通する課題
に対する取組
地区別計画を
支える取組

きらっとあさひプランを
みんなで話し合い、確認しながら
取組を進めることが大切なんだね！



旭区 マスコットキャラクター
あさひくん

一つひとつの取組が
「安心して自分らしく暮らせるまち」
につながっているよ♪



きらっとあさひプラン
マスコットキャラクター
あさちゃん
きらっとあさひプランの
詳細はこちら



希望が丘東地区

東希望が丘※
今宿町※
中尾一丁目
中尾二丁目※
今宿二丁目※

※ 他の地区にもまたがっています。

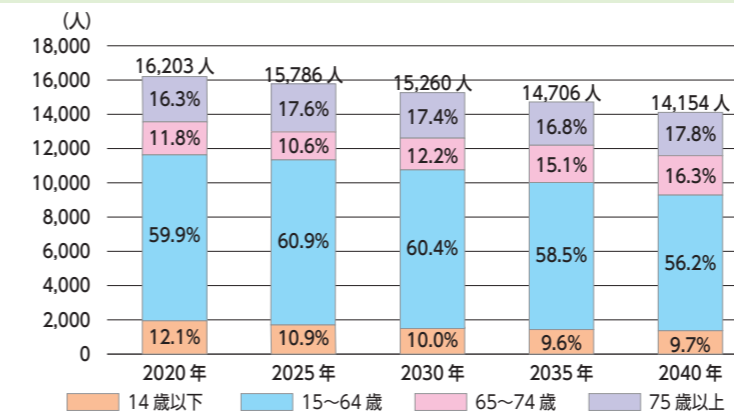


あなたの まちは、どんなまち？

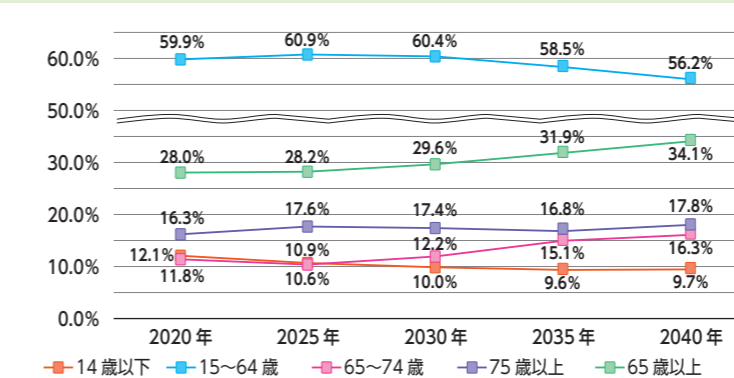
希望が丘東地区は、希望ヶ丘駅北側一帯の、総じて南斜面の丘陵地を中心とした地区ですが、何本かの谷戸筋が入り、地形の構成は複雑です。戸建て住宅を中心に、集合住宅が散在しています。

今後の人口の変化予想

◆年齢別 積み上げ棒グラフ



◆年齢別 折れ線グラフ



出典 横浜市日常生活圏域等別データ
小数点第2位を四捨五入した数値のため、合計が一致しないことがあります。



2025年の人口は約15,800人で、
今後は減少傾向で推移すると見込まれます。
2030年には、14歳以下は10%、
65歳以上は29.6%となる見込み
です。

目指す
まちの姿

希望が丘東地区

みんなで築く生き生き活力あるまち

子どもからお年寄りまで、誰もが安心して、いつまでも暮らしたいまちを、地域のみんがが主役となって、自分たちの手で築いていきます。

これまでの取組

従来から各団体が推進している取組みに加え、令和4年9月より（旧称）支えあい連絡会にまちづくりを具体的に推進する3つの部会を設置しました。第1部会（コミュニティ活動部会）、第2部会（防犯・防災活動部会）、第3部会（学校協働、まちおこし活動部会）の3部会活動が地域の中心的推進力となっています。

推進体制

希望が丘東地区まちづくりネットワーク
連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、
学校・地域コーディネーター、かがやきクラブ（第三支部・第四支部）

目標と主な取組

目標 A だれもがつどいふれあえる機会を作り拡充します

- ▶ 様々な個性や世代の住民が参加活躍できる場づくり
焼き芋大会を定期的に開催します。開催にあたっては、大人とは異なる視点アイデアを持つ子どもの意志を尊重し、かがやきクラブ・子ども会の協力を得ます。
- ▶ だれもがつどえる身近な居場所を作り、地域コミュニティをさらに活性化
日常生活に役立つテーマで公開講座を開催し、講演終了後には参加者と講師で雑談の場を作ります。



焼き芋大会



夏まつり 中学生が大人と一緒に輪投げブースを運営

目標 B 顔の見える関係と見守り体制を作ります

- ▶ 災害時要援護者調査の実施を継続します。
自治会町内会ごとに「安全カード」を活用した安否確認体制、日常の見守り活動体制づくりを支援します。
- ▶ スクールゾーン対策協議会との連携を図ります。
スクールゾーン対策協議会での防犯、交通課題を地域の課題としてとらえ、地域の多面へのつながりを活かしながら解決していきます。



要援護者支援事業の説明会



愛犬と散歩をしながら地域の見守り

目標 C 将来の地域活動の担い手づくりと地域の活性化をはかるため学校との連携を強化します

- ▶ 地域への興味や理解を深めてもらう活動を展開します。
・希望が丘の時代推移を紹介する展示会を期中にわたりシリーズで企画
・希望が丘マルシェの企画
- ▶ 学校からの要望に地域として応えるとともに、SDGsに関連するミニイベントを多く開催し、生徒・児童の参加を促していきます。



目標 D 支援が必要な人に対する共助の取組みを推進します

- ▶ 乳幼児向けのサロンなど、子育ての孤立を抑制する取組みを推進します。
- ▶ 地域の活動を通じて得られた気づきや情報をもとに、障害のある方や日常生活に支援が必要な方をケアプラザと連携しながら、地域で支え合う取組みへと広がっていきます。
- ▶ 生活にお困りの方へ「くらし応援会と相談会」を継続的に開催します。



パパと一緒にリトミック



きぼうの手 草刈り